

災害復旧対応のための実務実践研修会(初級)

プログラム

開催日：令和7年5月19日(月)～20日(火)

講師プロフィール

-
- 後藤 信孝(九州建設コンサルタント株式会社 技術部長)
 - ・資格 災害復旧技術専門家(公益法人全国防災協会)
 - ・実績 国土交通省OB(国土交通省水管理・国土保全局防災課 災害査定官)

 - 三浦 秀晃(九州建設コンサルタント株式会社 水工第二グループマネージャー)
 - ・資格 土木学会上級土木技術者(流域・都市)
 - ・実績 河川改修計画、護岸設計、災害復旧等

 - 小野 哲也(九州建設コンサルタント株式会社 道路グループマネージャー)
 - ・資格 技術士(建設部門:道路)
 - ・実績 道路計画設計、災害復旧等
-

【1日目】10:30～16:50(12時～13時昼休憩)

1. 災害復旧事業の概要 10:30～14:30(12時～13時昼休憩)
 - 1.1 近年の災害発生状況
 - 1.2 災害復旧制度
 - 1.3 災害復旧事業の主な流れ
 - 1.4 災害復旧関係事業(単災、関連、助成等)の説明
 - 1.5 災害復旧事業の留意点

2. 災害時における建設コンサルタントの役割 14:40～15:00
 - 2.1 建設コンサルタントの役割
 - 2.2 参考とする基準書

3. 資料収集整理・現地調査 15:00～16:50(途中 10分休憩)
 - 3.1 必要資料の収集整理
 - 3.2 現地調査の留意点
 - ・ドローン撮影時の注意事項など
 - 3.3 写真の撮り方・簡素化
 - ・起終点の考え方、写真上での旗揚げの仕方など【演習】
 - 3.4 現地状況の整理
 - ・被災状況の把握
 - ・A表(災害復旧箇所河川環境特性整理票)の作成【演習】

【2日目】9:50～16:50(12時～13時昼休憩)

4. 河川及び道路災害復旧の作業内容 9:50～16:10(12時～13時昼休憩)
 - 4.1 採択基準の整理 (午前途中 10分、午後途中 20分休憩)
 - ・異常な天然現象の基準の考え方、設定方法など【演習】
 - 4.2 復旧工法と査定設計書の作成
 - ・設計時において留意すべき事項

- ・被災メカニズムの解明【演習】
- ・A表(災害復旧箇所河川環境特性整理票)、B表(設計流速算定表)の作成【演習】
- ・復旧工法の選定【演習】
- ・設計図書(平面・縦横断設計、数量計算)の作成、事業費の算定

5. 災害査定の内容 16:20～16:50

- 5.1 災害査定の留意点
- 5.2 事業費の決定(朱入れ)

※プログラムの内容・時間配分等に変更することがあります。

◆業務予定などの都合による参加者交代は可能です。

◆この研修会は全国測量設計業協会CPD認定講習会(10 ポイント)です。

建設系CPD連絡協議会に所属する(一社)建設コンサルタンツ協会、
(公社)農業農村工学会等で研修会を受講した旨の申請ができます。

◆この研修会は人材開発支援助成金(厚生労働省)の対象となります。